

恋人の聖地に笑顔と歓声

帯広市

帯広市内の旧愛国駅でハート形噴水の通水が始まり、大型連休を利用したカップルや家族連れ、地域住民が訪れている。

旧愛国駅は旧幸福駅とともに静岡のNPOから「恋人の聖地」に認定されている観光スポット。2年前にハート形噴水が整備され、駅舎一帯の「愛国ふれあい広場」ではシンボリック的存在になっている。

2日午前には地域の子どもたちが集まり、水路で大はしゃぎ。管外から車で観光に来たカップルや家族連れも周囲を歩き、珍しそうに眺めていた。市観光課は「今年も多くの人に足を運んでほしい」とPRしている。



今シーズンの「幸福駅ハッピーセレモニー」が1日、旧国鉄広尾線幸福駅で始まった。タキシード、ウェディングドレス姿のカップルが記念証にサイン、立会人の米沢則寿市長や集まった観光客が見守る中、「恋人の聖地」で永遠の愛を誓った。

「幸福」にちなんだ恋人向け企画として2002年から開催。今年度は9月末まで



今シーズン初の幸福駅ハッピーセレモニーを体験した大東さん夫妻

実施、既に25組（うち香港9組）が申し込んでいる。

1日は東京都練馬区の会社員大東靖典さん(39)、綾さん(29)夫妻が結婚3周年記念で体験した。2人は赤いカーペットの上を歩いて登場。米沢市長が「純愛の聖地として今年も多くの人に訪れてほしい」とあいさつ、3人で記念証に署名した。

市から委託を受けた幸福観光再開発協議会（山木輝雄会長）が申し込みを受け付けている。料金は2人1組で3000円（貸し衣装、記念証込み）。問い合わせは市観光課（☎0155・65・4169）へ。（十勝毎日新聞）